

広報

つちうら

2016

4

Tsuchiura Public Relations

No.1168

市政の運営方針

市長は、3月1日から開会された平成28年第1回市議会定例会の冒頭、平成28年度の市政運営に対する所信を表明しました。

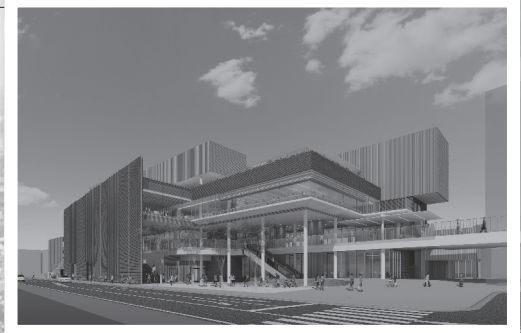
市営斎場



神立駅西口地区



土浦駅前北地区



大規模自転車道



土浦全国花火競技大会



水郷プール



かすみがうらマラソン



市政の運営方針



済では、有効求人倍率などに改善が見られるものの、消費回復の面などから、大都市との格差を抱えての回復基調であり、まだまだ実感に乏しいのが現状であります。

このような中、国におきましては、景気回復の恩恵を地方までの波及を促すとともに、人口減少克服という構造的な課題に正面から取り組みつつ、子育てや社会保障の基盤を強化し、成長と分配の好循環を生み出していく「一億総活躍社会」の構築に向けた挑戦を始めました。

本市におきましても、国の動きに迅速に対応し、昨年10月、まち・ひと・しごと創生人口ビジョンと総合戦略を策定し、新年度、若い世代の就労・結婚・子育てや、地方に住み、働き、豊かな生活を願う人々の希望が実現できるよう、ソフト面から、快適かつ安心・安全な環境整備を進めてまいります。

新治村との合併から10年が経過する中、合併特例債事業である、朝日トンネルの開通、小町の館の再整備、新治地区公民館の建替え、新治運動公園の野球場整備などが順調に進捗してきました。

また、昨年9月に新築移転の新庁舎、3月24日に竣工式を迎える新消防庁舎に続き、本年7月には水郷プール、10月には市営斎場が供用開始の予定であるなど、本市発展の根幹となる社会資本の整備に重点的・集中的に取り組み、新しい土浦市の姿が見え始める時期を迎えております。

このように、私は、土浦に住んでみたい、住んで良かったと実感できるまちづくりを目指すとともに、行財政改革の確実な推進と市民の皆さまとの協働による安心・安全な地域社会の構築に向け、強い信念をもって日々鋭意邁進してまいります。

私が、心魂を込めて策定し、実行してまいりました第7次土浦市総合計画につきましても、仕上げの時期を迎え、将来像である「水・みどり・人がきらめく安心のまち 活力のまち 土浦」の実現に向け、新年度、分野横断的な4つの「つちうら戦略プラン」に基づき、重点的かつ優先的な施策・事業の展開を図ります。

昨年11月の市長選挙の結果、引き続き市政を担うこととなり、改めてその責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。4期目となります。まずこれからの4年間は、次の世代に未来を繋いでいくための懸け橋を築く極めて重要な時期になりますことから、市民の負託に応えるべく、市政発展に全身全霊を傾注してまいります。

さて、世界を俯瞰しますと、百年に一度といわれる経済危機から立ち直ったものの、欧州債務危機、中国経済の減速に加え、新興国経済の脆弱性といった問題が顕在化しております。

国内では、「失われた20年」と言われる経済停滞期が続き、その原因といわれるデフレ克服に、アベノミクスの三本の矢をもって取り組んできた結果、経済の好循環が創出されつつありますが、地域経

市政の運営方針

市政の運営方針

安心・安全戦略プラン

未曾有の被害をもたらした東日本大震災から5年という節目の年を迎えます。

大震災では、本市も各所において大きな被害を受けたことから、災害に強い安心・安全なまちをつくること、すべての市民の願いであり、その実現に向けてさまざまな事業に取り組んでいるところです。

本市では、昨年、水害時の電源確保にも配慮した新庁舎や、本年、多種多様な災害に対応できる新消防庁舎など、災害に備えたハード面の整備を行いました。

今後は、「自分たちのまちは自らを守る」との意識のもと、市民、事業者、関係機関と市が連携を図りながら、それぞれの世代が支え合う、地域コミュニティの形成を促進します。

また、高齢化の急激な進行や生活習慣病が増加する中、誰もが健康で生き生きと安心して暮らすことができます、医療体制の充実が求められています。

3月1日に開院となりました、県下最大規模の急性期総合病院である土浦協同病院への適切な財政支援を継続するとともに、霞ヶ浦医療センターの機能強化のため、寄附講座設置による支援を継続します。

地域力・市役所力 パワーアップ戦略プラン

人口減少・超高齢社会という構造的な課題の克服に向け、国と地方が総力を挙げて地方創生に取り組む中、国におきましては、今年を「一億総活躍元年」として、誰もが、もう一歩前に踏み出すことができる社会を創り上げるための挑戦がスタートします。

本市におきましても、人口減少の克服に向け、新年度は、まち・ひと・しごと総合戦略に基づき、全庁を挙げて各種事業の展開を図りつつ、市役所力を結集し、国の支援制度を積極的に活用し、地域間連携による先進的な事業への取組も進めます。

人口減少社会を見据え、インフラを含む全ての公共施設につきましても、更新、統廃合および長寿命化などを計画的に実施するため、今年度実施の基礎調査などを踏まえ、公共施設等総合管理計画を策定します。

また、公共施設跡地については、今年度策定の活用方針に基づき、転用、貸付、売却に向け、具体的な検討を進めます。

暮らしの質向上戦略プラン

中心市街地につきましては、新庁舎の移転が完了し、平成29年11月のオープンに向け図書館と本市初の本格的ギャラリーを核とする駅北再開発事業の工事を進めます。また、引き続き、中心市街地活性化基本計画に基づき、

西口広場、ペDESTリアンデッキ整備を始め各種施策の推進を図り、まちなかのにぎわいと活力を創出します。

北の拠点である神立駅周辺では、2月に仮設の西口広場整備に着手し、新年度、土地区画整理事業にあわせ、橋上駅舎、自由通路などの工事を開始します。

本市発展の基盤となる道路ネットワークにつきましても、広域幹線道路の早期整備に向け、国・県へ強く要望活動を継続するとともに、新消防庁舎や土浦協同病院へのアクセス道路の整備を進めます。

市営斎場につきましても、全ての利用者と環境に配慮した新たな斎場として、本年10月、建物の供用開始に向け、引き続き整備工事を実施します。

「ら」さが光るオンリーワン戦略プラン

「土浦らしさ」の創出とともに、霞ヶ浦、土浦全国花火競技大会、かすみがうらマラソン、大規模自転車道など、全国に誇れる数多くの土浦の宝を活用し、「おもてなし文化」の醸成に努め、観光の振興を図ります。

特に、つくばりんりんロードと霞ヶ浦自転車道を一体とした大規模自転車道につきましては、県や沿道自治体などと連携し、日本一のサイクリングロードとして環境整備を行い、交流人口の拡大を図ります。

今後、県内外で開催される科学技術サミット、世界湖沼会議、茨城国体、

東京オリンピックピックなどを活かし、シティプロモーションによる情報発信を行うことで、本市の知名度・好感度の向上に取り組めます。

このように、本市の根幹を築く事業を実施していく中、大規模事業が収束した後は、事業の縮減を余儀なくされることから、長期財政見通しを踏まえ、より一層事業を厳選し、堅固な意志を持って効率的な財政運営を進めます。

さらに、人口減少社会を見据え、第5次行政改革大綱に基づき、スリムで効率的な行政体制を確立するとともに、財政基盤の一層の強化を図ります。

以上、本市を取り巻く社会経済情勢と市政運営に当たっての基本的な考え方を申し上げますが、新年度は、第7次土浦市総合計画の最終年度を平成29年度に控え、当計画の仕上げに向けた施策の展開と同時に、次の10年を見据えた第8次土浦市総合計画の策定を進めます。

こうした視点に照らして編成しました新年度の予算は、引き続き大型予算となるものの、新庁舎や新消防庁舎の完成にともない、前年度に比べ、

一般会計は、3.1割減
57.4億8000万円、
特別会計は、2.2割増
4.62億8000万円、
総額 0.8割減
103.7億6000万円、
とするものです。

主な施策の概要

将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり

長期的な本市のまちづくりの指針となる都市計画マスタープランに基づき、生活圏を基盤とする適正で有効な土地利用の誘導や、道路・公園などの都市基盤の整備を推進するとともに、周辺市町村との連携を図りながら、秩序ある都市づくりを推進します。

道路事業 ▼国道6号土浦バイパス全線4車線化要望▼国道6号牛久土浦バイパス事業促進要望▼国道354号土浦バイパス全線4車線化要望▼

県道六塚大岩田線、真鍋神立線、駅前川口線、中央立田線、川口下稻吉線、小野土浦線などの整備要望▼都市計画道路荒川沖木田余線の4車線化、真鍋神林線、田村沖宿線の延伸整備▼市道の改良工事

公共交通 ▼地域公共交通網形成計画の策定▼まちづくりと連携した公共交通ネットワークの構築

コンパクトなまちづくりの推進 ▼立地適正化計画を策定し、住宅、医療、福祉および商業などの施設の適正な立地誘導を図る

うるおいのある水辺空間 ▼かわまちづくり計画に基づく、遊歩道や標識の整備

JR常磐線の利便性の向上 ▼朝、夕の東京駅・品川駅乗入要望

市民の生命と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり

水害に見舞われた常総市の甚大な被害を目の当たりにし、改めて自然災害の恐ろしさを認識したところです。常に自然に対する畏敬の念を忘れることなく、引き続き防災・減災対策を進め、安心・安全なまちづくりを進めます。

地域の防災対策 ▼新治地区防災無線のデジタル化▼防災井戸を整備する町内会へ補助

既存建築物等の耐震化の促進 ▼民間特定建築物耐震改修の補助

地域の防犯対策 ▼自主防犯組織との連携▼防犯ステーション「まちばん」や防犯カメラの有効活用▼防犯灯のLED化

消防・救急の充実 ▼「いばらき消防指令センター」整備にともない大規模災害に強い通信指令体制の構築▼消防車両を計画的に更新

橋梁などの安全対策 ▼耐震補強工事および長寿命化に向けた修繕▼道路ストックおよび陥没の危険のある路面下空洞の修繕

急傾斜地崩壊対策 ▼木田余地区の崩壊防止対策工事

交通環境の整備 ▼「ゾーン30」の拡大▼チャイルドシートの更新

市街地の浸水対策 ▼都市下水路の計画的整備▼神立菅谷雨水幹線および木田余一号雨水幹線の整備

産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり

豊かな自然環境や恵まれた地域資源を活かし、土浦の魅力を高めるとともに、産業の振興と、交流促進による地域経済の活性化を図り、活力とにぎわいのあるまちづくりを推進します。

中心市街地 ▼土浦駅前北地区市街地再開発事業の推進▼ペDESTリアンデッキの延伸整備、シエルターの設置、西口広場の整備▼亀城モール整備▼まちなか居住、空き店舗への出店に対する家賃助成

神立駅西口地区 ▼駅前広場や駅前西通り線整備▼橋上駅舎や自由通路などの整備

農林水産業の振興 ▼農地の集積、農業生産基盤の整備、新規就農者の育成など、成長産業化に向けた取り組みの推進▼担い手支援

農産物 ▼ブランドとしての土浦農産物の認証▼新規栽培作物の試験栽培、新規栽培技術の習得、6次産業化の調査・研究活動支援▼そばまつりを開催し常陸秋そばをPR▼ふるさと土浦応援寄付金の返礼品として特産品をPR

都市と農村の交流事業 ▼田んぼアート

商業の振興 ▼地域の特性や魅力を活かした商業の活性化

プレミアム付商品券 ▼発行支援

食によるまちづくりの推進 ▼カレーのまち土浦をPR、カレーフェスティバル開催

企業誘致 ▼新たな企業立地による雇用の場の確保、地域経済の活性化

観光の振興 ▼土浦全国花火競技大会開催▼つくばりんりんロードと霞ヶ浦自転車道を一体とした大規模自転車道周辺整備▼サイクリング施設とマリーナを一体とした親水空間づくりに向けた基本計画策定▼筑波山地域の日本ジオパーク認定

保健・福祉サービスの充実した、人々のあたたかいふれあいのあるまちづくり

少子高齢化が進展する中、保健・福祉・医療が連携して支援するふれあいネットワークにより、誰もが住み慣れた地域で、安心して自分らしい暮らしを続けることができるまちづくりを推進します。あわせて、若い世代の出産・子育ての希望をかかなえるため、子ども・子育て支援事業計画に基づき、子育て支援に関するさまざまな施策の展開を図ります。

子ども福祉の充実 ▼病後児保育補助▼子育て応援講座開催▼出生および婚姻届提出者の和紙製お祝いシート贈呈

貧困の連鎖を防止するための支援 ▼就労その他の自立に関する相談支援▼学習意欲の高い児童に対する学習支援

市政の運営方針

障害福祉の推進

▼地域活動支援センター事業を総合福祉会館に移設し、総合的なサービスを充実▼身体障害者手帳の交付対象とならない児童に対する補聴器購入費用の助成

高齢者福祉の充実

▼認知症初期集中支援チームの設置▼認知症カフェを市内3か所に設置

保健・医療の充実

▼筑波大学と連携し市民公開講座および市民ダイエツトリーター養成講習会を開催し、協働による健康減量教室を開催

臨時福祉給付金

▼年金生活者等支援臨時福祉給付金のうち、低所得の高齢者向け給付金の円滑な支給

心の豊かさやたくましさや教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり

さまざまな個性を認め伸ばし合い、創造力豊かで、生きる力、人を思いやる心を持った人材の育成を推進します。誰もが夢を育み、将来を通じて学び、文化・芸術活動やボランティア活動に参加できる心の豊かな人が育ち、明るさがあふれるまちづくりを進めます。

学校施設 ▼新治中学校敷地内に施設一体型小中一貫教育学校の整備▼小・中学校体育館のガラス飛散防止や照明器具などの落下防止対策

小中一貫教育 ▼平成30年度全小中学校での実施▼ICT機器の拡充と有効活用▼電子黒板を平成29年度までに小中学校の全普通教室と理科室へ

整備

放課後児童対策

▼真鍋小学校に放課後児童クラブ室を増設▼神立小学校に放課後子供教室を開設▼下高津小学校・神立小学校で放課後児童クラブと放課後子供教室の一体的運営

新図書館およびギャラリー

▼平成29年度オープンに向け駅北再開発事業と一体的な整備を推進▼新図書館の蔵書の充実▼館長に外部の人材を登用

指定文化財

▼武者塚古墳出土品の保存台作成▼からかさ万灯の記録報告書作成

スポーツの振興

▼かすみがうらまらソン兼国際盲人マラソン開催ほか

スポーツレクリエーション施設の充実

▼川口運動公園野球場の内野スタンドの改修および夜間照明灯設置▼水郷プールの7月リニューアルオープン

人と環境にやさしい循環型社会づくり

掛け替えのない地球環境を守り、次世代に引き継いでいくために、環境にやさしいまちづくりを進め、循環型社会を構築します。

持続可能な地球環境の保全

▼第二期環境基本計画の改訂▼土浦市役所環境保全率先実行計画の策定▼太陽光発電システム設置補助

恵まれた自然環境の保全

▼霞ヶ浦浄化の取り組み▼自然環境調査の実施

▼環境教育の充実と環境保全意識の啓発

ごみ処理の適正化とリサイクルの推進

▼一般廃棄物処理有料化の準備

清掃センター

▼改良工事により施設の延命化

衛生センター

▼し尿、浄化槽・農業集落排水施設の汚泥を処理する汚泥再生処理センターの整備調査

上水道 ▼右廻配水場の整備、送・配水管の整備、老朽管の布設替え

下水道

▼未整備地区を中心とする面的整備▼施設の長寿命化

良好な住環境の確保

▼住宅リフォーム費用の助成

これらの施策を推進するための基本姿勢

▼行財政改革の推進

▼第7次土浦市総合計画に掲げる将来像の早期実現に向けて、地方分権を軸とした新たな行政サービスへの取り組みや分野横断的・戦略的な行財政運営が求められています。このような中、

第5次行財政改革大綱に基づき、事務事業の見直しによる一層の歳出削減を行うほか、新規財源の開拓など歳入増加策を図ることで、安定した財政基盤を確立します。

財政運営

▼計画的で戦略性の高い持続可能な運営

保育所、幼稚園および消防署などの適正配置

▼効率的かつ効果的な体制の構築

公社などの外郭団体 ▼事業展開と適切な組織の見直し

税の公平性確保と徴収率の向上

▼滞納処分の強化▼差し押さえた財産の公売▼特別徴収制度の推進

使用料などの滞納

▼徴収手続きの条例化に向けた取り組み

心身障害者やねたきりなどにより在宅で生活する高齢者への福祉手当

▼支給基準の見直し

社会保障・税番号制度への対応 ▼コンビニを活用した諸証明の交付

投票率の向上

▼大型ショッピングセンター内に期日前投票所を設置

市民と行政が一体となった協働によるまちづくり

地域コミュニティや市民活動団体などと連携・協働し、地域の活性化や地域課題の解決に向けて、市民と行政が一体となった協働のまちづくりを推進します。

市民活動への支援

▼まちづくり事業助成

地域コミュニティの形成

▼地域公民館の建築助成

市民懇談会

▼高校生を対象に開催

男女共同参画意識の普及と啓発

▼ワーク・ライフ・バランスの実現に向け講演会開催

人権尊重社会の実現

▼「人権と平和のつどい」の開催

多文化共生社会の実現

▼外国語ハンドブックの改訂